

Nバス及びおでかけなんじいの利用状況

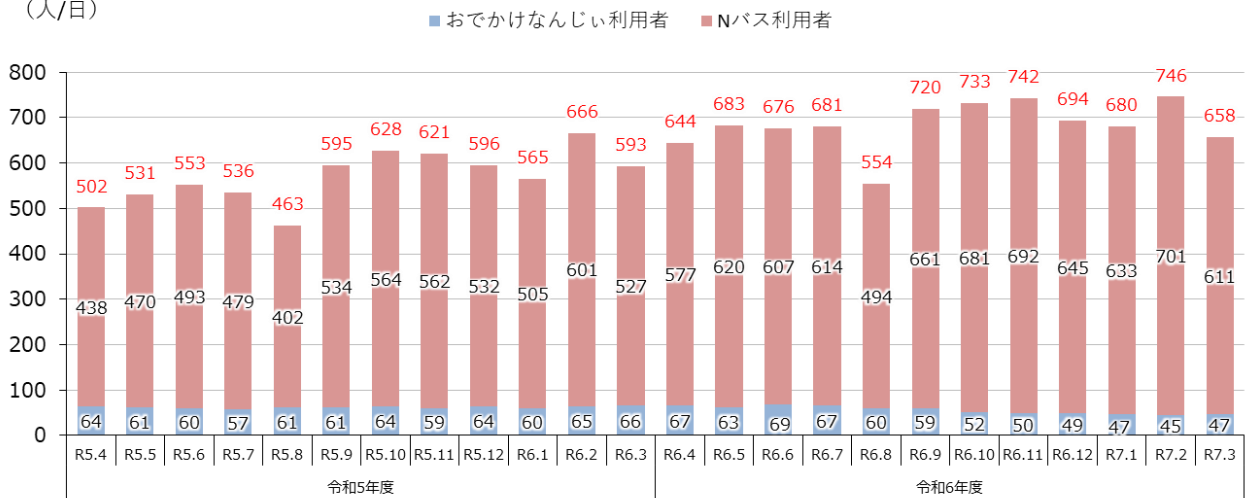
令和7年4月14日

南 城 市

1 概況

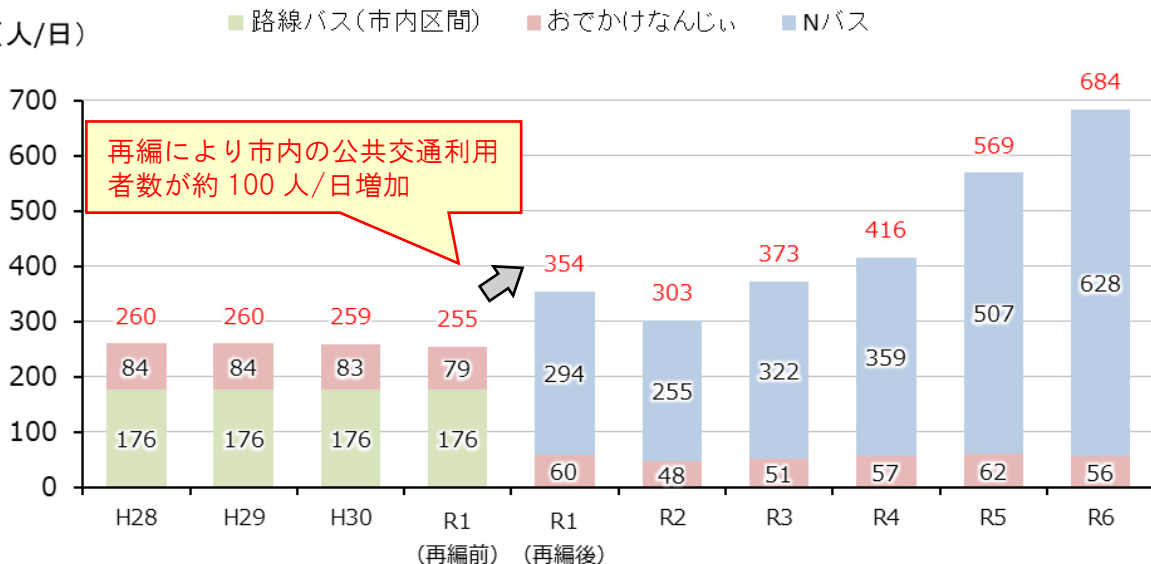
- Nバスとおでかけなんじいをあわせた市内の公共交通利用者数は、増加傾向で推移しており、令和5年4月の502人/日から令和7年3月には658人/日と2年間で156人/日増加しています。
- その中でも、令和7年2月は過去最高の746人/日の利用がありました。
- 公共交通再編（令和元年10月）前の「路線バスの市内区間」と「おでかけなんじい」をあわせた利用者数は、約260人/日であったことから、再編から6年5ヶ月で利用者数は約680人/日へと2.6倍に増えたことになります。

(人/日)



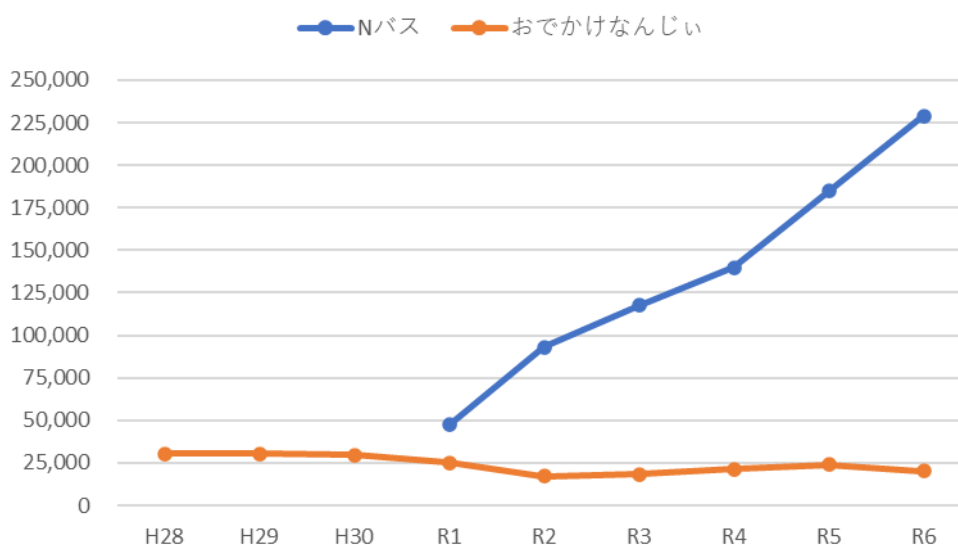
※R6.9のNバス利用者数はわった～バス感謝祭 乗りほ～DAY 利用者を含む
図-1.Nバス及びおでかけなんじいの利用状況の推移

(人/日)



※路線バスの利用者数は、H25 沖縄県調査より、市内区間のみの利用者数を整理
※R1(再編後)以降のデータには、路線バス利用者数は含まれていない。
※R6.9のNバス利用者数はわった～バス感謝祭 乗りほ～DAY 利用者を含む
図-2.市内の公共交通利用者数の推移

- Nバスの年間利用者数は、通年で運行した令和2年度の92,939人/年から、令和6年度は229,068人/年へと約2.5倍に増加しています。
- おでかけなんじいは、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度は利用者数が17,169人/年と減少しましたが、令和3年度以降、徐々に利用者が増加しており、令和6年度は20,356人/年まで回復しています。
- 令和6年10月から運行時間帯が短縮された影響もあり、令和5年度よりも利用者が減少しています。



※Nバスは R1.10より運行開始

図-3.Nバスとおでかけなんじいの年間利用者数の推移

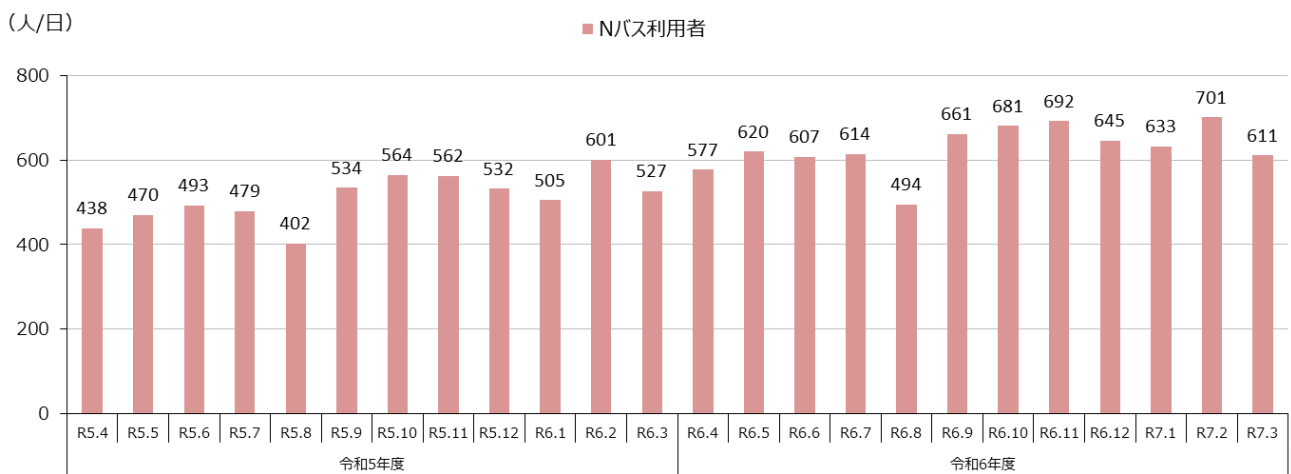
表-1.Nバスとおでかけなんじいの年間利用者数の推移

| | Nバス | おでかけなんじい | 備考 (Nバス) | 備考 (おでかけなんじい) |
|-----|---------|----------|--------------|---------------|
| H28 | | 30,303 | | |
| H29 | | 30,364 | | |
| H30 | | 29,642 | | |
| R1 | 47,299 | 25,087 | 10月から半年間の運行 | 車両小型化 |
| R2 | 92,939 | 17,169 | 新型コロナウイルスの影響 | |
| R3 | 117,505 | 18,469 | | |
| R4 | 139,733 | 21,437 | | |
| R5 | 184,911 | 24,102 | | |
| R6 | 229,068 | 20,356 | | 10月より運行時間短縮 |

2 Nバスの利用状況

2.1 利用者数の推移

- 概況でも示したように、Nバスの利用者数は増加傾向で推移しており、令和5年4月の438人/日から令和7年3月には611人/日へと173人/日、約1.4倍へと増加しています。
- 利用者数増加の要因としては、Nバスが一定程度認知されたこと、令和5年6月より、市内在住の65歳以上の方または障がい者手帳をお持ちの方を対象に「Nバス運賃支援事業」を開始したこと、路線バスの減便が影響していると考えられます。



※R6.9の利用者数はわった～バス感謝祭 乗りほ～DAY 利用者を含む

図-4.Nバス1日当たりの利用者数の推移

2.2 運賃区分別利用者数の推移

- Nバスの運賃区分別の利用者数は、「一般」が37%と最も多く、次いで、「高校生」20%、「中学生」13%、「小学生」10%の順に多くなっています。なお、「現金」での支払い20%は、支払方法の都合により一般、高校生、中学生、小学生の区別が不明となっています。
- 運賃区分別の利用者数の推移をみると、一般は令和5年4月の138人/日から令和7年3月は240人/日と1.7倍に増加、学生全体は、令和5年4月の191人/日から令和6年3月は230人/日と1.2倍に増加し、特に中高生の利用者数が多くなっております。

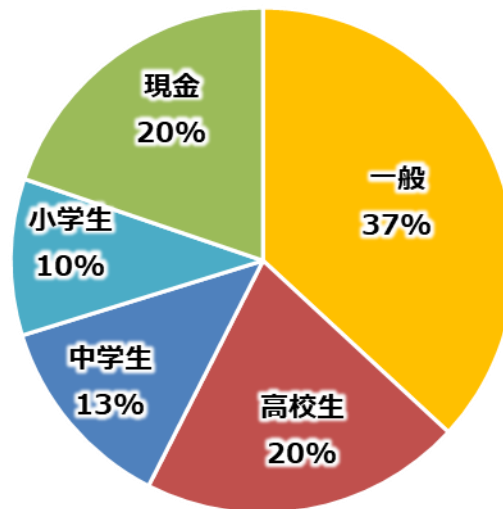
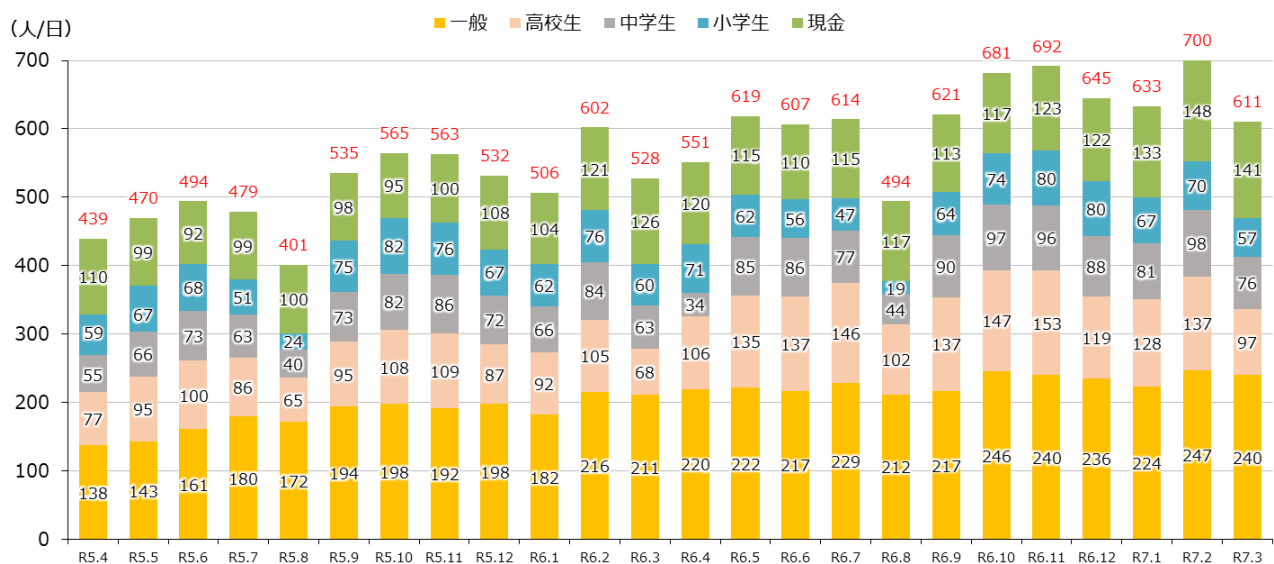


図-5.Nバスの運賃区分別の利用者数(令和6年度)



※R6.9の利用者数はわった～バス感謝祭 乗りほ～DAY 利用者を含まない
図-6.Nバスの運賃区分別の利用者数の推移

2.3 券種別利用者数の推移

- 令和6年度のNバスの券種別の利用者数をみると、Nバス運賃支援事業を適用したこともあり、「OKICA」が45%（65歳以上17%、障がい者5%含む）と最も多く、次いで「回数券」が35%、「現金」20%となっています。
- 年代別に運賃区別券種別の利用区分をみてみると、一般は、「OKICA」が8割、「回数券」が2割となっています。
- 「回数券」の割合は、小学生が76%、中学生が85%と高く、市内のみの登下校の利用であれば、運賃がお得な「回数券」の利用が多くなっています。

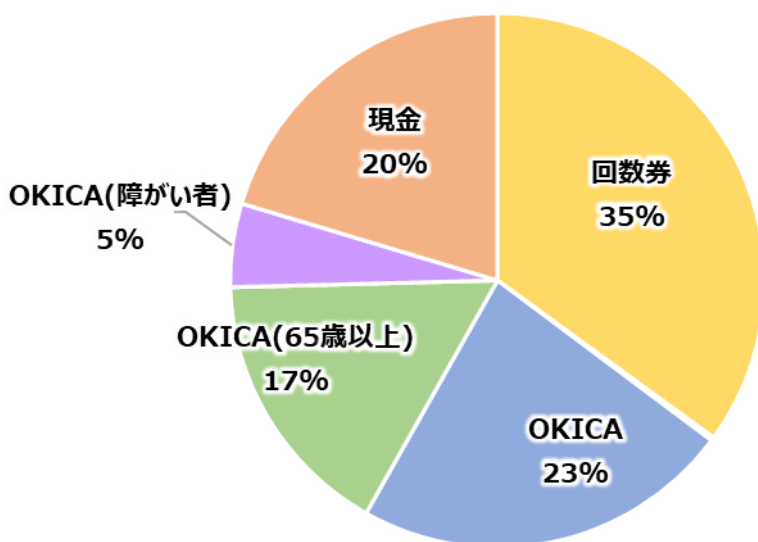


図-7.Nバスの券種別の利用者数(令和6年度)

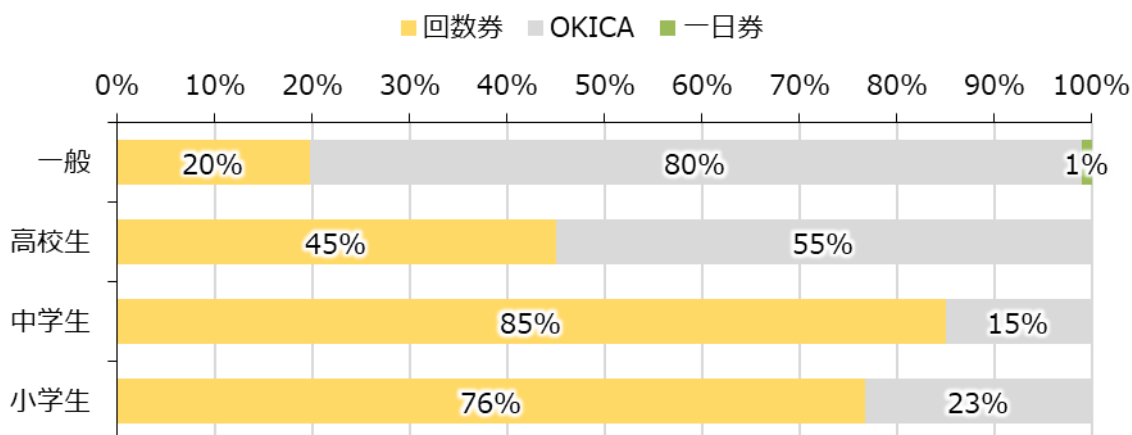
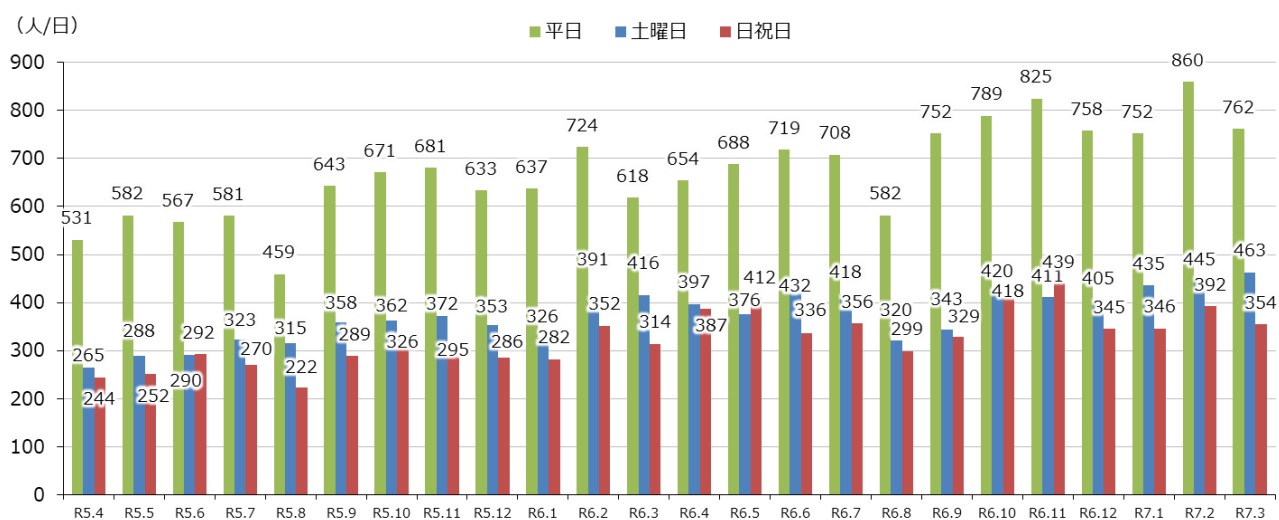


図-8.Nバスの運賃区別券種別の利用者数(令和6年度)

2.4 曜日別利用者数の推移

- 曜日別の利用者数をみると、平日は、学校が長期休暇となる8月の利用が非常に少なくなりますが、8月を除くと増加傾向で推移しており、令和7年2月は過去最多の860人/日を記録しています。
- 平日に比べると、土曜日、日祝日の利用者数が少なく、土曜日が400人/日前後、日祝日が350人/日前後と平日の5～6割程度の利用となっています。
- 土曜日、日曜日ともに利用者数は少ないものの、どちらも令和5年度に比べると、9月の土曜日以外の月で前年同月を上回っています。なお、9月の土曜日の利用者数の減少は、9月の水曜日と日曜日を対象に、わたた～バス感謝祭 乗りほ～DAYが実施されていたことが影響していると考えられます。



※R6.9の利用者数はわたた～バス感謝祭 乗りほ～DAY利用者を含まない
 図-9.曜日別利用者数の推移

3 おでかけなんじいの運行・利用状況

3.1 運行形態

- 令和 5 年度の第 5 回公共交通会議で、おでかけなんじいの運行見直しの承認を受け、令和 6 年 10 月より、運行時間の見直しが行われています。
- すべての曜日で利用が少ない 8 時台の運行を取りやめ、平日は 9 時台～17 時台、土曜日及び日祝日は 9 時台から 15 時台の運行となっています。

表-2.「おでかけなんじい」の運行計画

| 項目 | 内容 | |
|-------------|---|--|
| 名称 | おでかけなんじい | |
| デマンドバスの運行範囲 | 久高島を除く南城市全域 | |
| 利用対象 | 南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし） | |
| 利用運賃 | 一人一律、1 回 500 円（未就学児は無料） ただし、75 歳以上の市民は 200 円 | |
| 運行形態 | ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド） | |
| 運行曜日 | 平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3 は除く | |
| 運行時間帯 | ～2024.9.30 | 2024.10.1～ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●8 時台～19 時台の 1 時間ごとに運行 ●平日 9 時台～18 時台は 3 台/時、それ以外は 2 台/時運行 | <ul style="list-style-type: none"> ●平日は 9 時台～17 時台、土曜日及び日祝日は 9 時台～15 時台の 1 時間毎に運行 ●平日は 3 台/時、土曜日及び日祝日は 2 台/時運行 |
| 運行車両台数 | 最大 3 台（5 人乗り車両） | |
| 利用方法 | 観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約。ただし、9 時台は前日までの予約が必要。 | |
| 運営体制 | 運行業務及びオペレート業務は、地方自治法に基づく随意契約で選定。 | |

表-3.「おでかけなんじい」の曜日別時間帯別運行台数

| 曜日 | 時期 | 時間帯 | | | | | | | | | | | |
|------|----------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 8 時 | 9 時 | 10 時 | 11 時 | 12 時 | 13 時 | 14 時 | 15 時 | 16 時 | 17 時 | 18 時 | 19 時 |
| 平日 | ～2024.9 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| | 2024.10～ | — | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | — | — |
| 土日祝日 | ～2024.9 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 2024.10～ | — | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | — | — | — | — |

3.2 運行便数

●1日当たりの運行便数は安定しており、令和6年9月までは26便/日～29便/日、令和6年10月以降は21～22便/日で推移しています。

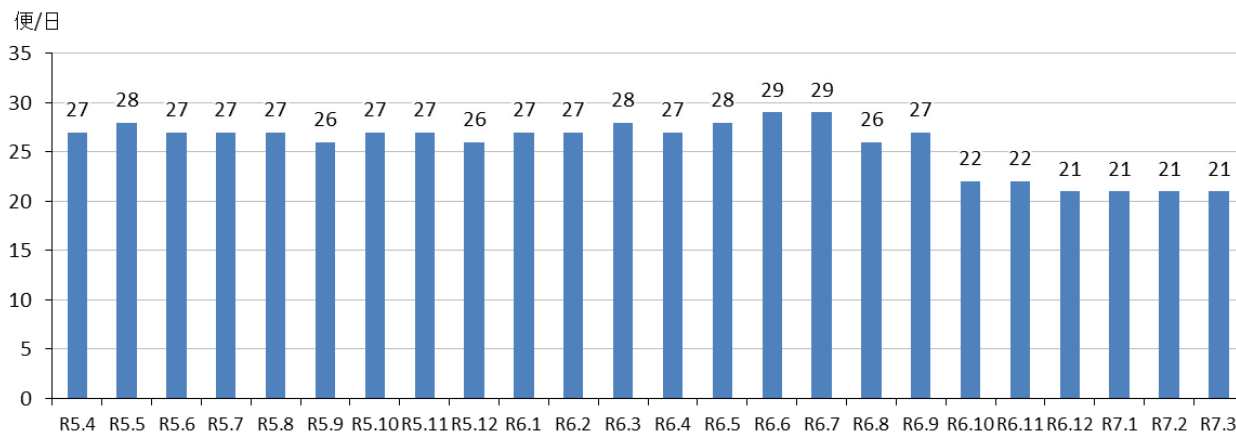


図-10.「おでかけなんじい」の運行便数の推移

3.3 利用者数

●令和6年9月までは、1日当たりの平均利用者数が、57～69人/日で推移しており、利用者数が安定しています。運行時間が短縮された令和6年10月以降は、45～52人/日で推移しており、若干減少傾向にあります。

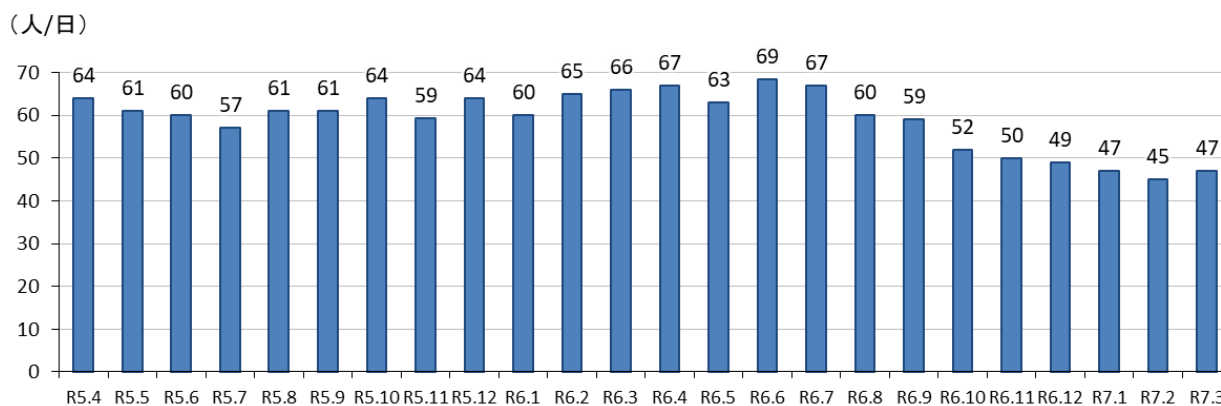


図-11.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

3.4 曜日別の利用状況

- 令和6年度における曜日別の利用状況をみると、令和6年9月までの間は、平日は71～78/日で推移しているのに対し、土曜日は41～58人/日、日祝日は30～45人/日で推移しており、土曜日、日祝日は平日に比べ20人/日以上利用者数が少ない状況です。
- 令和6年10月以降は、平日は54～62人/日で推移しているのに対し、土曜日は29～36人/日、日祝日は22～25人/日で推移しており、土曜日、日祝日は平日に比べ20人/日以上利用者数が少ない状況です。

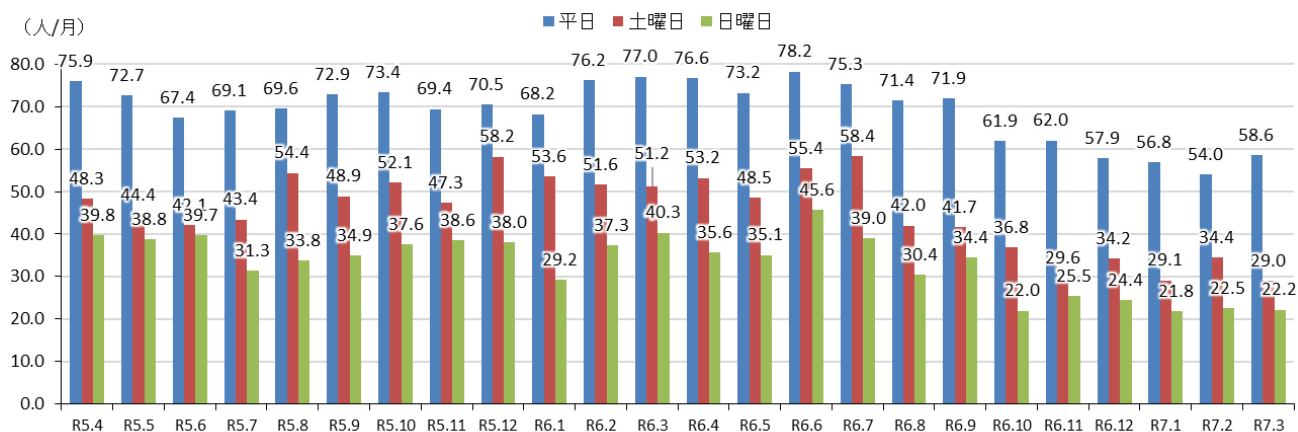
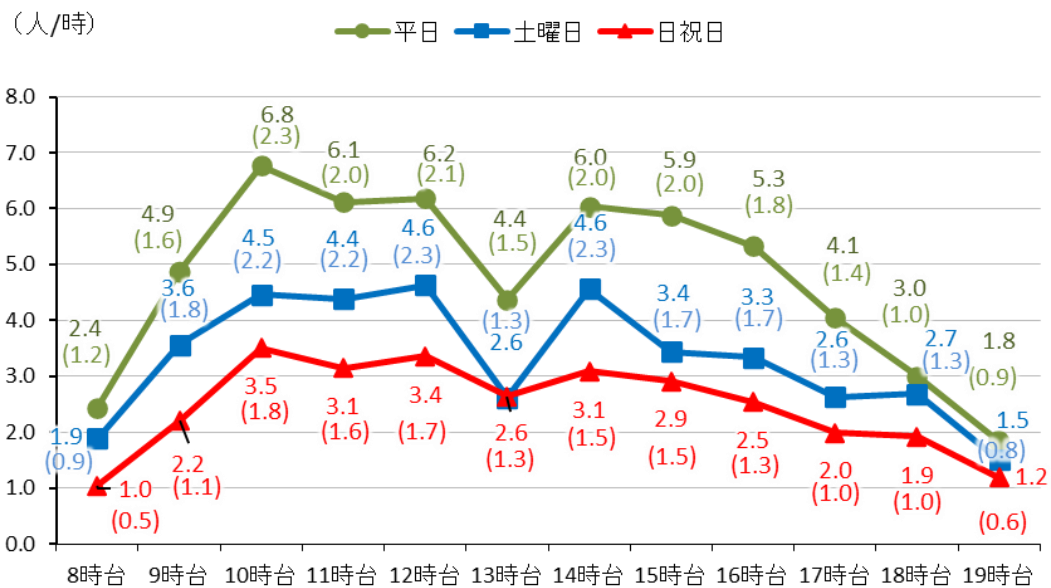


図-12.曜日別の「おでかけなんじい」の利用者数

3.5 曜日別時間帯別の利用状況

- 令和6年9月までは8時台及び18時台、19時台はすべての曜日で4.0人/時を下回っています。1台当たりにおきかえると、2.0人/台未満となっており、2人以上の乗合でなく、一人での利用も多くなっています。
- 令和6年10月以降は全体的に乗合率が2.0以上となっている時間が増えています。10月以前と比較すると、時間帯による利用者数の変動が小さくなっており、安定して推移しています。



※()内は、1台当たりの利用者数

図-13.曜日別時間帯別の利用状況(令和6年9月まで)

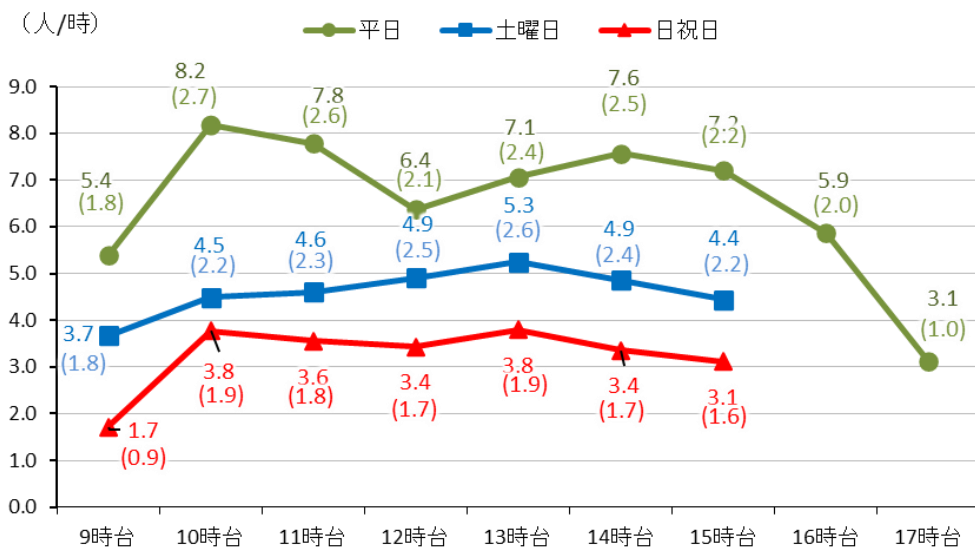


図 14. 曜日別時間帯別の利用状況(令和6年10月-令和7年3月まで)

3.6 性別の構成

- 利用者の男女比は概ね3：7となっています。
- 利用者の男女比の推移に大きな変動はみられません。

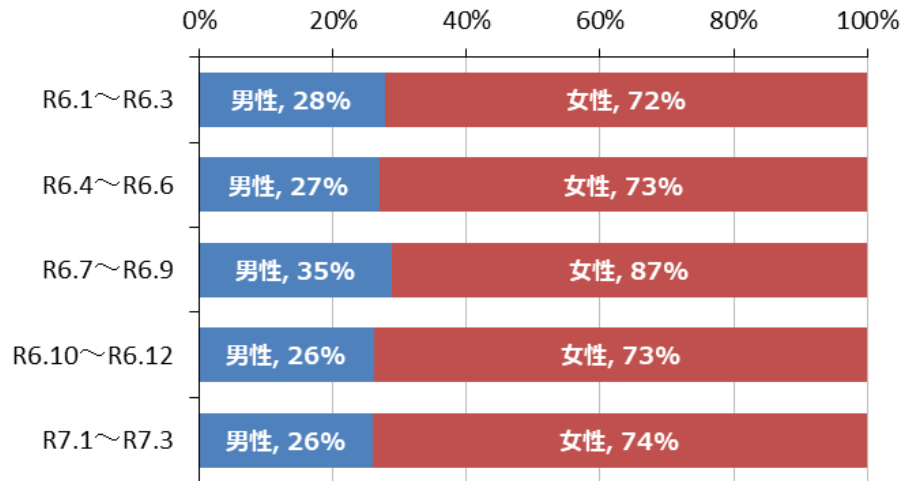


図-15.利用者の性別の推移

3.7 年齢構成

- 令和6年度における利用者の年齢構成は、「80～84歳」が32%と最も多く、次いで「85歳～」が29%、「75～79歳」が18%と高齢者の利用が多くなっており、75歳以上が全体の79%を占めています。
- 年齢構成の推移をみてみると、各期間共に大きな変化はなく、「75歳以上」が80%前後を占めています。

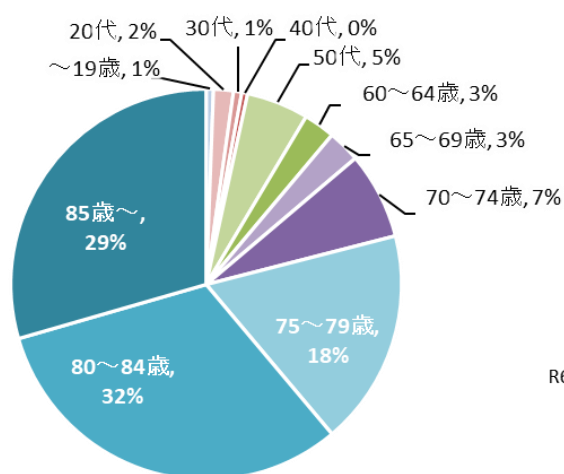


図-16.利用者の年代(令和6年度)

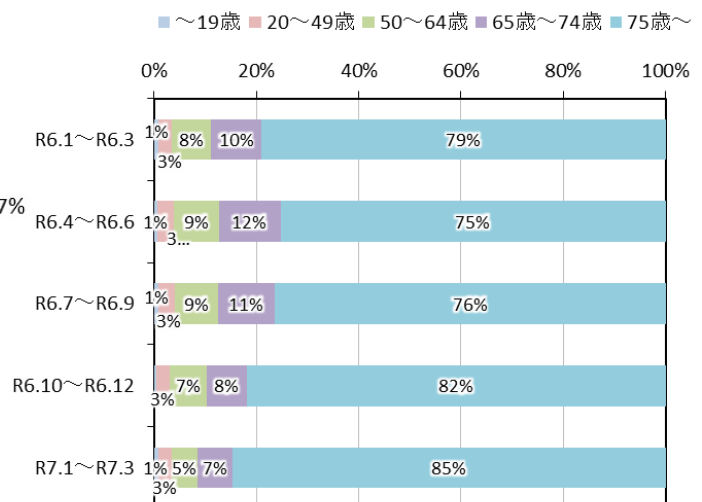


図-17.利用者の年代の推移

3.8 市民と観光客

- 令和6年度における観光客の利用割合は2%にとどまっています。
- 四半期ごとの観光客の利用者数をみると、どの期間も1.0人/日前後となっており、観光客の利用は少ない状況です。

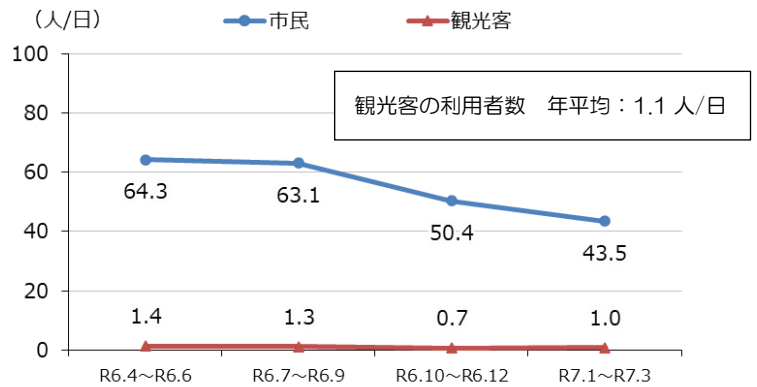
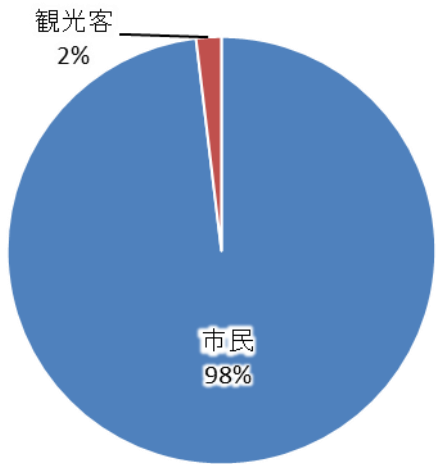


図-18.市民と観光客の構成比(令和6年度)

図-19.おでかけなんじいの市民と観光客の利用者数の推移

3.9 おでかけなんじいの実利用者

- 令和6年度における「おでかけなんじい」の実利用者数は1,295人であり、南城市総人口の2.8%を占めています。
- 年間の利用回数の上位18人(1.4%)で全利用の20%、上位78人(6.3%)で全体の50%を占めており、利用が特定の方に偏っています。

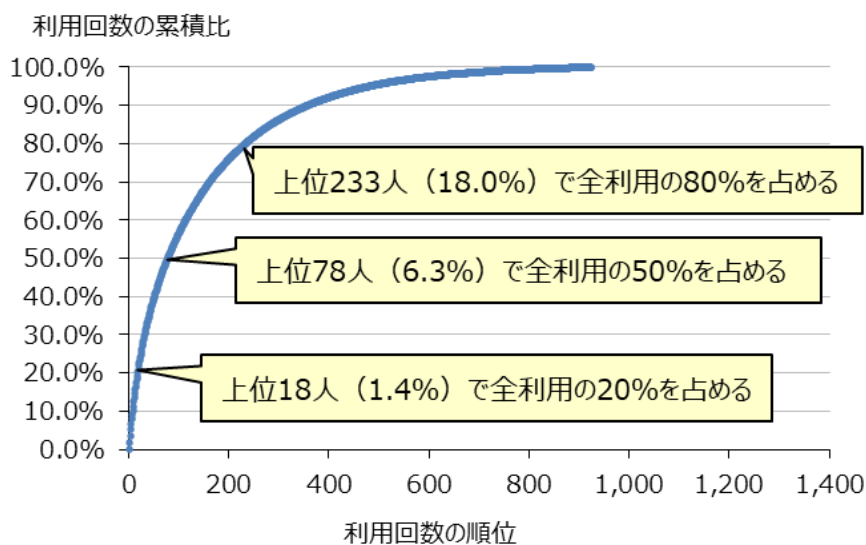


図-20.実利用者の年間利用回数の順位と累積利用回数との関係

4 令和 6 年度の利用状況のまとめ

- Nバス及びおでかけなんじいともに、利用者数は安定してきています。また、Nバスは「Nバス運賃支援事業」の効果もあり利用者数が増加しています。
- Nバスの利用者数の増加に伴い、市内の公共交通の利用者数が再編前の約 260 人/日から令和 6 年度は約 680 人/日へと約 2.6 倍に増加しています。
- Nバス、おでかけなんじいともに土曜日、日祝日の利用者数が平日に比べ少なく、休日の需要喚起又は、ニーズに応じた運行計画の見直しが課題としてあげられます。
- おでかけなんじいは、75 歳以上の利用が約 8 割を占め、また、利用回数の上位 78 人(6.3%)で全利用の半分を占めるなど、特定の高齢者に多く利用されています。

表-4.令和 6 年度の利用状況のまとめ

| 項目 | 内容 |
|---------------|--|
| 利用者数 | <ul style="list-style-type: none"> ●Nバスの利用者数が大きく増加しており、市内の公共交通の利用者数は再編前の約 260 人/日から、令和 6 年度は約 680 人/日へと約 2.6 倍に増加している。 ●おでかけなんじいの利用者数は、令和 6 年度は 20,356 人/年まで回復している。令和 6 年 10 月から運行時間帯が短縮された影響もあり、令和 5 年度よりも利用者が減少している。 |
| 曜日別/時間帯別の利用状況 | <ul style="list-style-type: none"> ●「Nバス」、「おでかけなんじい」とともに土曜日、日祝日の利用者数が平日よりも少ない。 ●「おでかけなんじい」は、平日の 10 時台をピークに午前、午後の利用が多く、夕方は利用者数が少ない。 |
| 性別の構成 | <ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」利用者の男女比は概ね 3：7 で大きな変動はみられない。 |
| 年齢構成 | <ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」の利用者の年齢構成は 75 歳以上が利用者の 79% を占める。 |
| 市民と観光客の利用 | <ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」の観光客の利用は、2% にすぎず、大半が市民の利用となっている。 |
| おでかけなんじいの実利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」の利用は、ヘビーユーザーに偏っており、実利用者 1,295 人のうち上位 78 人(6.3%)で全体の利用回数の 50% を占めている。 |